

R P P Cメール

リサイクルポート推進協議会

第 2 4 3 号 (平成 2 0 年 7 月 2 3 日発行)

=====

○目次

《RPPC からのお知らせ》

早大シンポジウム開催のご案内

早稲田大学環境総合研究センター主催（当協議会顧問の永田教授がセンター長）のシンポジウムが下記の通り開催されます。

会員の皆様におかれましても、是非ご参加いただきたくご案内致します。

詳細・申込方法につきましては下記の HP を参照下さい。

(参加申し込み締め切りが 7/23 までとなっておりますが、まだ若干の空きがあるようです)

【溶融飛灰資源化研究会 第 5 回シンポジウム】

「溶融飛灰リサイクルの現状と展望」

～ 山元還元による循環の環の完成を目指して ～

開催日：平成 20 年 7 月 29 日（火） 13:00～16:50

場所：早稲田大学 小野記念講堂（200 名入場可能）

http://www.waseda.jp/weri/action/2008/20080729_symposium_hibai/top.html

7/29 シンポジウムには、当協議会から福原技術開発部会長による

「リサイクルポート推進協議会の活動と展望（仮）」と題した講演があります。

【システム安全・安心研究会 第 4 回シンポジウム】

「静脈施設の安全・安心の実現に向けて」

～ 静脈施設における安全・安心の動向とシステム安全安心研究会の活動報告 ～

開催日：平成 18 年 7 月 30 日（水） 13:30～17:00

場所：早稲田大学 小野記念講堂（200 名入場可能）

http://www.waseda.jp/weri/action/2008/20080730_symposium_anzen/top.html

【事務局】

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 「海洋・港湾構造物維持管理士」資格制度の骨格固まる
2. 長崎港小ヶ倉柳地区で埠頭改良事業
3. 名古屋港飛島埠頭南第 2 パースは、8 月末に整備完了へ

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1．「海洋・港湾構造物維持管理士」資格制度の骨格固まる

海洋・港湾構造物の維持管理に係る資格認定制度の制度設計を検討して来た財団法人沿岸技術研究センターは、制度全体の枠組みを固めた。海洋・港湾構造物の維持補修・管理等について総合的な判断を下すことができる「海洋・港湾構造物維持管理士」資格試験と、維持管理業務に知見を有する人材育成のための講習会の二つの取組で対応する。8月上旬に試験実施要項等についての最終の詰めを行い今秋の試験実施に向けて準備を進める。

同資格試験では、海洋・港湾構造物全体の維持管理について、深い知見と判断力を有する者を海洋・港湾構造物維持管理士として認定し、わが国海洋構造物の維持管理に係る指導的役割を担ってもらう。また技術講習会は維持管理分野について専門的知見を有した多くの人材育成・確保が求められることから、講習会を通じて同分野における技術のボトムアップを図るのが狙い。

【港湾空港タイムス】

.....
2．長崎港小ヶ倉柳地区で埠頭改良事業

長崎県土木部港湾課では今年度から長崎港小ヶ倉柳地区のふ頭改良事業に着手することにしており、直轄事務所と歩調を合わせて、公有水面埋立免許取得に向け申請図書の作成等を進めている。今年9月頃に県と国が同時出願する見込み。面積は合わせて約5ha程度。

小ヶ倉柳地区は海上コンテナ貨物のほか外貿一般貨物などを取り扱っている。ただ岸壁は築後40年近くを経て老朽化が進んでいるほか、ふ頭用地も狭く昨今のコンテナ対応ふ頭になっていない。このため岸壁改良として、直轄事業でコンテナ用のマイナス12m岸壁を南側に100m延ばし従来と同じ240m岸壁を確保、背後のふ頭用地を広げる。また県でも補助事業によって同岸壁の南側の側面にマイナス10m岸壁、7.5m岸壁を新しく確保する。このうち7.5m岸壁は耐震強化岸壁にして大規模震災時への対応力を高める。

【港湾空港タイムス】

.....
3．名古屋港飛島埠頭南第2バースは、8月末に整備完了へ

中部地方整備局名古屋港湾事務所が直轄整備してきている名古屋港飛島埠頭南のマイナス16m第2バースは、今年8月末の完了に向けて地盤改良並びにエプロン舗装が行われている。直轄では引き続き同バース西側部分へのSOLAS対応のフェンス移設などを行って最

終段階に向かう。同バースには合計3基のガントリークレーンが導入されることになっており、そのうちの1基はこのほど現地に据え付けられるなど、今年12月の供用に向けて官民で調整していく動きになっている。

基盤整備は最終段階になっており、今秋からはガントリークレーンやトランスファークレーンの慣熟に入り、年末のコンテナ第1船の受け入れに備える。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員：藤原 敏光 五洋建設(株)

門脇 直哉 新日本製鐵(株)

座間味 康喜 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局

(財団法人 港湾空間高度化環境研究センター内)

担当：首藤、新谷、高橋(美)

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc@wave.or.jp

#####